

総合体育館建設のため 漁組前府有地を購入計画

(来年度当初予算で)

土地購入約3億円 総建設費約10数億円

施設の水光熱費は年間約2000万円

原町政は、平成25年度予算審議のさいに閑空からの税収が増えるなかでも「将来的には今のような財政を維持できるものとは考えておりませんので、今後の財政運営を慎重にしていかなければならない」などと答弁していました。

「今後の財政運営を慎重に」から一転
9月2日日本議会終了後の全員協議会で、突如、原町長は、大阪府の分譲地であるりんくうタウン北地区の住宅関連

ゾーン約6500平方メートル（左上に写真）をスマートウェルネス構想をすすめるためとして、分譲価格約3億円で購入し、そこに駐車場約100台を整備した総合体育館を建てる計画を一方的に通告、推進するかまえます。

この全員協議会で小川議員は、ふれ愛センターなどの建設審議の経験から、総建設費と年間水光熱費がいくらかかるのか、ただし、「総建設費約10数億円、水光熱費年間約2000万円」の答弁をひきだしました。

9月28日（日）午前10時
府営住宅2棟上階から、真横の府分譲地、漁港方向を撮影



建設場所（イメージ）
(この府分譲地は、「住宅関連」の建築制限がかかっています)

9月2日全員協議会で総合体育館建設を
議会に一方的に通告したときの町当局の資料から作成

【スマートウェルネス構想の実現に伴うまちづくりについて】

コンセプト
「健幸長寿」をキーワードに生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちを創造し予防型社会をめざし、誰もが歩いてしまう、歩きつづけてしまうまちづくり及びまちの活性化

町民総合体育館の建築
設置場所及び敷地面積：漁組前府所有地（予定）約6500㎡
駐車スペース：約100台
建築構造：建物部分 RC 二階建て（全室空調完備）
主な施設：アリーナ（バスケットボールコート2面・バレーボールコート3面）
多目的ルーム、トレーニングルーム
ランニングコース、観覧席、シャワールーム
医務室、会議室等

ウォーキングコースの整備
コンセプトに基づき町内に複数のコースを整備
○町内全域に市街地コース、自然に親しむコースを設定
○主に既存の歩道を利用しカラー舗装・サイン計画等
○市街地コースの拠点は総合体育館、ふれ愛センター
○自然に親しむコースの拠点は駅上グラウンド

今後のスケジュール
平成26年10月1日付けで庁内組織の設置
平成27年以降：用地買収、地質調査、基本構想から着手

塗られているところが
津波による浸水が想定される場所



(田尻町津波ハザードマップより)



平成22年に策定された第4次田尻町総合計画から
体育施設について
「既存施設の有効活用、管理運営の質の向上と効率化」
アンケート結果で「教育・文化」について
一番要望が強かったのは、「幼稚園・小中学校の教育施設の拡充」

来年度当初予算で約3億円 体育館建設 土地購入予算の提出計画は中止を

原町政は、この分譲用地購入のために建築計画を府に提出。来年度予算案で土地購入予算案を町議会に提案する計画です。総合体育館建設構想は、今

りんくうタウンでの2階建て施設が「防災拠点にもなる」？

原町長は、議会答弁で、総合体育館施設建設が「防災拠点にもなる」との認識をいたしました。しかし、「津波ハザードマップ」によると津波は、近くまで来ます。（上記図面）「想定にとらわれるな」も大事です。

漁協「日曜朝市」の駐車場用地確保は考慮すべき

府分譲地6500㎡のうち4500㎡を田尻漁協が日曜朝市のための駐車場用地として府から町行政を通じて有償で借りて、右上写真のように利用されていることを考慮する必要があります。

民間企業が購入し、「日曜朝市」のための駐車場用地を失うことは、「観光漁業」推進の立場からは避けなければならないと考えます。